



## 主な重点推進事業

市ホームページ▼



令和5年度の重点推進事業の一部を紹介します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。  
また、広報しらかわ6月号に「令和5年度当初予算の概要」を掲載予定です。

### 白河っ子小学校入学祝金支給事業

福祉

子どもの小学校入学を祝うとともに、入学時の保護者の経済負担を軽減するため、5万円の入学祝い金を支給します。



### 白河の未来型農業研究事業

産業

地理的条件や営農形態などを踏まえた先端技術を活用し農業の課題解決を図るため、モデルケースとなる経営体の協力を得ながら実証・実装に向けた調査を行います。



### 工業の森・新白河A工区整備事業

雇用

工業の森・新白河A工区に進出する企業が決定したことに伴い、造成工事に合わせて道路などのインフラ整備を実施します。



### 白河駅前ロータリーリノベーション事業

都市基盤

観光バスの駐車スペースや案内板のリニューアル、植栽の配置転換など、駅舎やしらかわ観光ステーションと一体となった空間整備を検討します。



### 良縁めぐりあわせ応援事業

コミュニティ

専門員による結婚希望者からの相談窓口を設置するとともにさまざまな知識や経験を有するサポーターとして「良縁あわせ隊」を結成し、伴走型の支援を行います。



### しらかわの未来を創る

環境

#### ゼロ・カーボン・ミッション事業

県内初の試みで、Webサービスを活用して商店と市民を結び、食品ロス削減するマッチングサービスを開始します。



背景写真提供 鈴木 秀一 氏

令和5年度

# 施政方針

2月28日に開会した市議会定例会で、鈴木市長が令和5年度の施政方針を表明しました。  
重点的に取り組む施策など、主な内容をお伝えします。



## 日々の暮らしの中にある小さくても確かな 「幸せ」を実感できるまちづくり

これまでの4期にわたる任期で、私が一貫して柱に据えてきたのは、歴史や文化、自然、産業など、足元にある資源を磨き、活かす内発的発展であります。

こうした中、去年は、夏の甲子園で一躍脚光を浴びた白河関跡をはじめ、伝統工法による石垣修復を終えた小峰城や、より魅力を増した南湖公園にも多くの来訪者がありました。また、県が新産業の一つとして力を入れている製薬会社の立地が決まり、国道294号白河バイパスも開通するなど、これまでの取り組みが着実に実を結んできていると感じています。

しかしながら、人口減少に歯止めがかからず、表郷地域と大信地域が過疎指定を受けることとなりました。改めて、その原因を分析するとともに、東地域も含めた3地域の地域活性化協議会と議論を重ねて策定したそれぞれの「地域振興計画」に基づき、適切な対応策を講じてまいりたいと考えています。

今般のコロナ禍は、疫病や地震、水害など大都市が抱えるリスクを顕在化させる一方、若い世代の働き方や価値観の変化に拍車をかけ、そこにテレワークなど場所を選ばない働き方が浸透したこともあり、生活のゆとりや充実感を求め、地方移住への関心が高まりつつあります。

こうした意味で「地方が主役」の時代が、まさに始まるものと思います。

幸い本市は、農村と都市的空間のバランスが良く、首都圏へのアクセスにも優れ、歴史や文化の蓄積もあります。その恵まれた条件を活かしながら、日々の暮らしの中にある小さくても確かな「幸せ」を実感できるよう「安定した雇用の創出」や「女性や若者の多様な働き方と自分らしいライフスタイルの実現」、さらには「豊かな感性や創造力を育む文化・芸術の振興と教育の充実」などに力を入れてまいります。

また「転職なき移住」の促進に加え、女性も男性も安心して仕事と子育てを両立できる環境づくりや地域全体で子育てを支える気運の醸成、さらにはジェンダーギャップの解消などにより、人口減少のスピードを緩やかにし、地域の活力を維持してまいります。